

令和5年度 相模湖地区社会福祉協議会 定期総会 議事録

日 時：令和5年5月17日（水）午前10時～11時25分まで

場 所：県立相模湖交流センター アートギャラリー

出席者：51名

構成員 41名（うち議決権を有する方38名）

監事・委員 3名（地区社協への協力者）

来賓 4名（石原緑区長、森久保自治連会長、大神田老連会長、
藤井公民館長）

事務局 4名（宮崎所長、三田CSW、小川推進員、大塚支援員）

欠席者：28名

構成員 27名（議決権を有する方。うち委任状提出21名）

委員 1名

1. 開会（司会進行：砂金富保副会長）

定刻に開会し、議決権を有する構成員64名中、出席38名、委任状提出21名、合計59名で過半数の出席確認により、会則第11条第2項に基づき総会成立の報告並びに開会が宣言された。なお、今年度は改選期にあたり、令和4年度及び令和5年度から新規に構成員になる方が出席対象となっている。

2. 会長あいさつ（石井冬樹会長）

総会開催及び日ごろの地区社協活動への協力について謝意が述べられた。

現在、相模湖地区は市内でも高齢化が進んでいる地域であり、それに伴う福祉的な問題も抱えている。コロナ禍で高齢者の活動が停滞したことにより、ひきこもり状態になったり、認知症になったりする方が増えてきている。さらに、地区外からアパートに移転してくる生活保護受給者も増えており、生活困窮による問題も起きている。そうした方々に、民生委員と協力しながら地区社協として何ができるかを検討しなければならないと考えている。

一方、昨年6月に「ちょこっとボランティア相模湖」を立上げ活動を開始した。住民同士の助け合いが実を結びつつある。また、従前からの「とっきの時のあんしんケース」事業も、コロナ禍においては貴重な見守りの手段であった。

子育てや子どもに関しては、皆さんの地道な活動が実を結び、「おはなしクレヨン」の活動が、4月23日に開催された「令和5年度子どもの読書活動推進フォーラム」において文部科学大臣表彰を受賞したことは、大変喜ばしい事として報告させていただく。今年度も引き続き、地区社協への協力をお願いしたい。

3. 来賓あいさつ、来賓紹介（司会：砂金副会長）

次の来賓にご臨席、ご挨拶をいただいた。

・挨拶 相模原市緑区区長 石原 朗 様
相模湖地区自治会連合会会長 森久保 高弘 様

・紹介のみ 相模湖地区老人クラブ連合会 大神田 賢 様
相模湖公民館館長 藤井 行雄 様
相模湖まちづくりセンター所長 菊地原 学 様（欠席）

4. 議長選出（司会：砂金副会長）

互選として 井草利一構成員 が選出された。

5. 議事録署名人選出

「議長一任」の声があり、議長により三樹秀文理事、朝比奈滋明理事が選出された。

6. 議事

第1号議案

令和4年度事業報告及び収支決算報告並びに会計監査報告について（P2～P16）

- (1) 令和4年度事業報告
砂金富保副会長から報告説明が行われた。
- (2) 令和4年度収支決算報告
市村志乃会計から報告説明が行われた。
- (3) 令和4年度会計監査報告
國場弥生監事より報告された。

以上全てについて意見や質問等は無く、原案通り承認された。

第2号議案

役員を選出（案）について（P17）

岩間 肇副会長から説明が行われ、意見や質問等は無く、原案通り承認された。
承認後、新役員の紹介と新役員を代表して石井会長から挨拶があった。

<会長挨拶要旨>

コロナや加速する高齢化により地域福祉は困難な状況にあるため、ほぼ変わらない体制で支えていきたいと考えている。

第3号議案

令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）（P18～23）

(1) 令和5年度事業計画（案）

中河 学副会長から説明が行われた。

(2) 令和5年度収支予算（案）

市村志乃会計から説明が行われた。

以上全てについて意見や質問等は無く、原案取り承認された。

7. 議長解任

全ての議事が終了し、議長解任となった。

8. その他

特に無し

9. 報告事項

(1) 構成員及び理事の交代について（P24～25）

改選期にあたり、石井会長から令和5年度～6年度の構成員、理事について報告が行われた。

(2) 相模原市社会福祉協議会 令和5年度事業計画及び予算（概要）（別紙資料）

相模湖地域事務所宮崎所長より、職員の紹介に続いて資料の説明が行われた。

10. 閉会（岩間 肇副会長）

以 上

令和5年5月17日

相模湖地区社会福祉協議会

議事録署名人

朝比奈 滋明

議事録署名人

三 樹 秀 文